

2026 年 7 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社 シンコーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 吉田 香太郎
(コード：312A、TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役 應矢 満弦
(TEL. 03-5797-7318)

TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

当社は、2026 年 4 月 3 日付で株式会社東京証券取引所より発出された通知「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」による要請に基づき、当社の TOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況の評価等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、BtoB 及び BtoG ビジネスを中心とした事業展開を行っております。事業のさらなる拡大に向けては、顧客からの信頼獲得及び社会的信用力の向上、並びに優秀な人材の確保が重要な経営課題であると認識しておりました。

そのため、社会的信用力及び知名度の向上を図り、大手企業や行政機関との取引機会の拡大及び採用市場における競争力の強化を目的とし、TOKYO PRO Market（以下「TPM」）に上場しました。

また、上場会社として求められる経営管理体制やガバナンス体制の整備を進めることで、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現することも目的としております。

2. 上場目的の実現に向けた取り組み

当社は、TPM 上場による社会的信用力及び知名度の向上を活かし、採用活動の強化に重点的に取り組んでまいりました。

その結果、新卒採用及び専門性の高いキャリア人材の採用において一定の成果が表れつつあります。さらに、採用した人材の定着と活躍を促進するため人材育成制度を整備し、組織基盤の強化を継続的に推進しております。

加えて、TPM 上場を機に情報発信を強化し、既存取引先との関係を深めるとともに、新たな取引先やパートナー企業との接点を拡大してまいりました。

3. 上場目的の実現状況の評価

現時点において、上場により得られた社会的信用力及び知名度の向上は、採用市場における競争力の向上に寄与していると評価しております。

また、上場後に 1 件の M&A を実現するとともに、新たな M&A 案件の検討機会の拡大にもつながっております。さらに、当グループにおいては、各社の事業特性や強みを活かした連携機会が拡大しており、グループ全体としての提案力や対応領域の向上にもつながっております。

加えて、研究開発活動についても成果が蓄積されつつあり、将来の事業化に向けた検証及び体制整備を進めております。

なお、上場会社として求められる内部管理体制や開示体制の整備・運用については、適切な運用を継続して

おり、今後の事業拡大やグループ経営の高度化を見据え、さらなる体制強化にも取り組んでおります。

一方で、上場会社としての機動的な資金調達などの資本政策や、さらなる事業拡大の加速という観点においては、十分な成果を創出するに至っていないため、今後の重要な成長課題であると認識しております。

4. 今後の方針

今後は、TPM 上場により向上した社会的信用力及び知名度を最大限に活用し、コア事業における市場シェアの拡大と収益基盤の強化に取り組んでまいります。

また、「経営基盤のさらなる強化」及び「事業・収益基盤の拡充」を当面の重要課題と位置付け、マーケティング活動の高度化やグループ組織体制の最適化を推進してまいります。

加えて、これまでの研究開発成果の社会実装を加速させるとともに、新規事業の創出・育成を含めた成長戦略を展開し、持続的な企業価値の向上を目指します。

明確な時期は定まっていますが、TPM 上場を通じて培った経営管理体制及びガバナンス体制を基盤として、将来的な一般市場へのステップアップも視野に入れ、必要な体制整備を進めるとともに、成長戦略の着実な実行を推進してまいります。

なお、本資料に記載された内容は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の今後について確約するものではありません。

以 上